

日本歯周病学会 第26回歯科衛生士教育講演会報告

特定非営利活動法人日本歯周病学会歯科衛生士教育講演 B を以下のように開催致しました。

研修会名：日本歯周病学会歯科衛生士教育講演 B

(社団法人日本歯科衛生士会第3次生涯研修)

主催：特定非営利活動法人 日本歯周病学会(歯科衛生士関連委員会)

社団法人 長崎県歯科衛生士会

共催：社団法人 長崎県歯科医師会

日時：平成22年8月29日(日) 10:00~15:30

場所：長崎県歯科医師会館 5階講堂 (長崎市茂里町3-19 【TEL】095-848-5311)

演題：『歯周組織検査の知識と技術』 ~プロービングを再考してみよう!~

『唾液検査の目的と方法』(実習)

講師：日本歯周病学会歯科衛生士関連委員会 委員

鶴見大学歯学部歯科保存学第二講座 講師 鈴木丈一郎

日本歯周病学会歯科衛生士関連委員会 委員

日本歯科大学附属病院 歯科衛生士室 松澤澄枝

研修単位：(1)(2)の両方に該当する場合は、(1)(2)それぞれの単位取得が可能

(1) 日本歯周病学会会員の場合

- ・認定歯科衛生士制度における

申請時の教育研修単位 (8単位)

更新時の生涯研修単位 (10単位)

(2) 日本歯科衛生士会会員の場合

- ・第3次生涯研修制度に基づく専門研修単位

(歯周治療の基本技術 計3単位)

-B 歯周組織検査の知識と技術 2単位

唾液検査の知識と技術 1単位

日程：

9:30 受付

10:00 開会・挨拶

10:10~12:10 講義『歯周組織検査の知識と技術』~プロービングを再考してみよう!~

(鈴木委員)

12:10~13:30 休憩・昼食

ミニデンタルショー（ホール 12：10~13：30）
業者商品説明（ステージ 12：20~13：00）ウェルテック歯科材株式会社
13：00~15：00 実習『唾液検査の目的と方法』（松澤委員）
15：00~15：30 質疑応答 閉会

内容：

受講生は、181名(内41名が学生)の歯科衛生士及び歯科衛生士学校教員であった(内21名が日本歯周病学会認定歯科衛生士取得者)。

午前中は、鈴木委員による、『歯周組織検査の知識と技術』と題した、特にプローピングに重点を置いた講義を、午後は、松澤委員による、『唾液検査の目的と方法』と題した、講義と実習を行った。

実習は、時間的、経済的問題から、181名全員が参加することはできなかったが、抽選で選ばれた18名が実習に参加した。

感想：

デモの様態および実習風景をビデオカメラを用いスクリーンに映写したので、選ばれなかった受講者にも実習内容をご理解いただけたと思う。ただ、学生にとっては暇な時間になってしまうので、今後学生が多数参加する場合には、別プログラムを考慮する必要があると思われた。

また、今回は休憩・昼食時間帯に、ミニデンタルショーや業者商品説明など学会さながらの企画が盛り込まれており、担当歯科衛生士会の意気込みが感じられ、とても有意義であった。

講演後のアンケート結果から、プローピングだけではなく、咬合診査、エックス線写真読影などの具体的な項目の講義・実習の要望が多く、同項目の必要性が感じられた。また、症例報告の希望もあり、今後は、現地の認定歯科衛生士による症例発表、ポスター発表のような形式も取り入れていくのもよいのではないかと感じられた。

受講後、認定歯科衛生士を取得したいと希望する者は14名(7.7%)であった。

以上

文責

日本歯周病学会 歯科衛生士関連委員会 委員 鈴木丈一郎



受付



会場



講演



実習